

## 澤井の中上級講義の特色

## ①楽しくなければ講義じゃない!

講義は明るく、笑いを交えながら和やかに進みます。最近の出題傾向を見据えて、実務の話もふんだんに盛り込んでいきます。ただし「出題予想となる絶対ポイントは外しません」。記憶定着のための「全体質問」が多いのも特徴です！

リニューアル！

澤井清治講師が担当する、オプション講座

## 澤井の「過去問セレクト」

[全16回／別売]

過去問は繰り返される！過去問は全受験生の共通テキストだ！  
過去の重要問題、典型問題をしっかり解説。

## 労働編(全9回)



## 社会保険編(全7回)



## こんな方にオススメ

過去問対策に自信がない方 アウトプット力が弱いと感じている方 初めて社労士試験を受験する方 本試験で点が伸び悩んでいる方

## 私の、「澤井の厳選！過去問セレクト」は、こんな講座です！

過去問は繰り返される！過去問は全受験生の共通テキストだ！過去の重要問題、典型問題をしっかり解説。

「過去問は、社労士試験をめざす全受験生の共通テキストです」

社労士試験を目標に勉強を始める人で、「過去問をやらない人は、あまりいないと思います。つまり、過去問はすべての受験生の共通テキストのようなものなのです。よって、過去問に出ていた問題が本試験に再度出題されたときに、「それを落とさないようにする」ことがとても大事なのです。なぜなら、社労士試験の合格基準は「相対的基準」だからです。多くの受験生が得点できない問題は

落としてもさほど影響はありませんが、過半数の受験生が得点した問題を落としてしまい、基準点を割ってしまうと、厳しい結果が待っているということにもなりかねません。

## 「なぜ、一問一答方式なのか」

私が一問一答式過去問題集の制作を手がけたのは、今から10年以上前のことです。本試験問題を一からパソコンに入力し、一肢ずつ詳細な解説を加えてきました。一問一答式にした理由は、5肢択一式では繰り返し学習しているうちに「答えを覚えてしまう」からです。そして、何より最近の

## 「一問一答、過去問講義の進め方」

講義では2024年合格目標の合格講座、中上級講座の自習用教材である「一問一答過去問題BOOK」を使って、おおよそ過去10年分の本試験の問題の中から、2024年社労士本試験で狙

## ②「理論」+「語呂テク」、「七五調」、「フレーズ化」で暗記をサポート。更に「ネコレジ」で映像化

社労士試験は理論と暗記が勝負。「なぜそうなのか？」を解説します。でも暗記は面倒だ。そんなときは「語呂テク」と、日本人のリズムに合った「七五調」、「フレーズ」を駆使して、受講生の暗記をサポートします。更に、中上級の方なら、条文はさっと目を通しただけで、「重要な部分の確認をしたい」と考えるのが当然です。私の講義では、「图形」と「まとめ」を駆使した通称「ねコレジ」を使用していきます。

## ③いきなり予想と横断学習

「どこが大事で、どこを覚えておけばいいのか」、受講生の聴きたいポイントはそこに尽きます。本試験を意識した学習で、「出題予想ポイント」をはじめからズバズバ指摘していきます。また、中上級者のクラスでは、「初めから横断学習を意識」しています。試験の前にわざわざ横断学習を行わなくとも、ある程度の整理ができる状態をつくっておきたいからです。

## 澤井講師からのメッセージ

学習経験者のみなさん、社労士試験に合格するために必要な「5つの力」を身に付けて、一気に合格に王手を掛けましょう。

5つの力とはズバリ、①「基礎力」、②「過去問力」、③「初見問題対応力」、④「一般常識力」、⑤「モチベーション維持力」です。

①基礎力がしっかりとできている。それが社労士試験の得点源です。  
②過去問で鍛えて、アウトプット力を養成しておきましょう。  
③初めて見る問題に対応できること、それには、慣れと訓練が必要です。

④一般常識の統計や白書を苦にしないようにしておくことです。

⑤そして何より最後まで「気力を維持できるか」、そこが勝負の分かれ目です。  
「考えて悩むより、まずやってみる」その気持ちが、運と実力を運んできますよ。「運勢」とは運に勢いがある状態です、さあ、澤井の中上級クラスで、攻めていきましょう！

澤井  
(さわい きよはる) LEC専任講師  
新宿エルタワー本校 生講義担当  
Web・音声DL・スマートフォン収録担当・DVD収録担当



われぞうな問題をセレクトして一問一答形式で読み上げ、正誤判断して、解説していきます。基本的には、一度いいので事前に問題に目を通して来てください。そうすれば、解らないことが解かり、知らない論点は何かなど、スポンジに水が吸い込まれるように知識を吸収することができます。

事実、この講義で多くの受験生が力をつけて「壁を突破」しています。初めは理解しながらしっかりと、その後は徐々にスピードを上げて解いていくのが実力アップのコツです。

過去問を制するものは社労士試験を制するものでもあります。みなさんのご参加、心よりお待ちしています。解らない過去問も、すぐに質問できることも通学の大きなメリットです。

※使用教材：2024年一問一答過去問題BOOK